

1. 総 括

新型コロナウイルス感染症が常態化する中、午前と午後の2部制での通所を4時間に戻した。予防対策として、検温・手指消毒、昼休み・15:00以降の2回、職員による作業場の消毒は継続した。また、コロナ禍に行った工賃に対する特別措置を解除した。作業時間が4時間に戻る事を希望していた利用者がいる一方で、環境や工賃の変化に戸惑いを見せた利用者もいた。丁寧に面談を行いながら作業環境の調整など個別に対応したが、3名の利用者が他事業所へ移行した。他、2名の利用者が自分に合った作業内容のB型事業所に移行したり、資格取得の勉強に専念したいと退所した。

また一方で、コロナ禍での半日通所で少しずつ環境に慣れ自信をつけ、通所日や通所時間を増やすことができた利用者(主に、精神障害)もいた。コロナ禍から継続している在宅支援利用者も、毎週水曜日の15:30～16:30に特別枠を設け対応したことで、通所できる機会があった。

新たなB型利用のかたちとして、作業能力は高いが集団の中に入って作業を行うことが難しく、よりメンタルケアや個別対応を必要とする利用者の活動場所「ひのきうぽ」の施設外支援をスタートさせた。「KANUMAISM(カヌマイズム)」の連携事業である「ペットのかじり木」について、麻殻のカットやパッケージ作業を行った。また、ひのきの間伐材を利用したオイルや蒸留水の抽出作業を通し、ひのきの香りによるアロマ効果もあり、落ち着いた作業環境の創出ができている。

さらに、CCVダック(生活介護)から、就労意欲が高まった利用者が就労アセスメントや体験実習を経て、B型利用につながったケースがあった。

2. 年間利用者数

(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開所日収	21	22	22	22	22	21	22	22	22	21	21		238
1日平均 利用者数 (人)	20	18	18	18	16	16	17	15	16	16	15		16.8
延利用者数	437	390	387	395	351	347	365	332	345	337	331		4017

※主な欠席理由…体調不良・精神不安定・家事都合(通院など)

3. 担当職員

サービス管理責任者：宇賀神美菜子

生活支援員：大貴祐子、高山恵美子、廣田晴子、

職業指導員：島中智也

目標工賃達成指導員：宇賀神由子、小森敏江

4. 就労支援事業

(1) 職業（作業）支援

①製菓製パン部門

売上目標額 350万円（実績 558万円）

成 果

- ・売り上げ目標達成
- ・能登支援復興菓子販売(塩クッキー、塩マドレーヌ)
- ・宇都宮丹波屋イベント販売(利用者デザインのシール等を使用)

課 題

- ・利用者が、パン作業に関われる時間が少ない

②《下請け作業》

業者：中央パッケージ、sansan、ハッピースパイス、野尻商店、鹿沼市図書館、
鹿沼市市民部人権推進課、月とスパイス、ウィステリアエステート、
おこんにゃく茶屋、鳥居跡町自治会

成 果

- ・納期などを意識しながら作業に取り組んだり、新しい作業に挑戦したいという
利用者が増えた

課 題

- ・パン作業の繁忙期の対応

③自主製品部門

《ペット部門他》

成 果

- ・新しい作業環境(ひのきラボ)の創出し、かじり木作業を行うことができた

課 題

- ・ひのきのアロマオイル・蒸留水の商品化、販路創出

(3) 収益事業の収支報告

- ・総売り上げ 7,354,838円（前年比 103%）
- ・工賃総支給額 3,114,860円（前年比 67%）
- ・支給人数 299人（前年比 80%）
- ・月額平均工賃 10,418円（前年比 83%）

〈月別工賃支給額〉

月	工賃支給額	支給人数	平均工賃
4	342,600円	29人	11,814円
5	295,810円	31人	9,542円
6	292,690円	30人	9,756円
7	312,080円	29人	10,761円
8	265,420円	25人	10,617円
9	260,510円	26人	10,020円
10	294,960円	26人	11,345円
11	268,070円	26人	9,715円
12	252,600円	26人	10,358円
1	269,300円	25人	10,723円
2	260,920円	26人	9,715円
3	円	人	円
合 計	3,114,960円	299人	10418円

※今年度は、年度末手当なし

就労継続B型事業

1. 職員会議、支援会議

(1) 職員会議

- ・必要に応じて開催
課題についての協議・検討および共有

(2) 支援会議

- ・支援会議：月1回開催
- ・支援計画検討・作成、モニタリング、ケース検討
課 題
- ・個別支援計画研修に参加できた職員がいなかった

(3) 総括・事業計画会議

- ・令和6年度事業総括会議

- 1月13日（月・祝）PM
- ・令和7年度事業計画作成会議
- 2月23日（月・祝）PM

2. 職員研修

- ・人権研修（全職員）

3. 安全・安心

（1）防災管理

- ・消火、通報、避難誘導の訓練を年2回実施（うち1回は地震を想定した訓練）
- ・消防設備の定期点検を年2回実施（委託業者：（株）メディア・システム）

課 題

- ・階が違くと非常ベルが聞き取りづらく、避難のタイミングにズレがでる

（2）危機管理

- ・事故・ヒヤリハット報告 件
- ・報告書については、回覧し終礼で共有した。
- ・再発防止についての対策について職員間で話し合い、共有した。

（3）苦情解決・虐待防止

- ・今年度の苦情は0件

成 果

- ・虐待に対する申し出はなかった。
 - ・虐待に関する全職員研修を実施した。
- 今年度は利用者向けの学習会も実施した 「イヤなことはやめてと言おう」

課 題

- ・苦情までいかないクレーム事案あり。
- ・カスタマーハラスメントに対する対応

4. 送迎サービスの実施

- ・市内循環2コース運行（朝・夕）

5. 余暇活動

- ・多肉植物寄せ植えワークショップ(5月)
- ・サーティワンアイスクリームへ行こう(8月)
- ・LRTでベルモールに行こう(9月)
- ・文化祭見学、昼食(12月)
- ・仕事納め昼食会(12月)

課 題

- ・自由行動など、どこまで利用者の主体性に任せるか？

6. 生活支援

健康管理

- ・通所時の検温、手洗い、アルコール消毒
- ・年1回の健康診断、診断結果と要精検の把握
- ・昼休憩時と作業終了時、作業場の消毒
- ・1時間に1回の換気

相談援助

- ・B型として支援できることを明確にしたことで、相談件数は減っている
- ・就労以外の相談は、適切なサービスや医療に繋げるため、相談支援員さんと連携し対応した

7. 環境整備

- ・二荒山神社一の鳥居、新鹿沼駅前いちごオブジェの清掃
- ・地域清掃

8. 地域・関係機関との連携

(1) 認定NPO法人取得を目指す。

- ・ホームページの更新・管理
- ・SNSの管理
- ・認定NPO法人委員会の定期開催
- ・CCVだよりの発行（年3回）
- ・正会員、賛助会員の名簿管理

課 題

- ・ホームページの更新があまりできていない
- ・賛助会員数があまり増えていない
- ・会員名簿と新規か継続の把握と会費の管理

(2) 実習生の受け入れ

生活介護より1名、
基幹相談支援センターより1名
栃木特別支援学校より1名

(3) 地域連携

- ・KANUMAISMの作業「ペットかじり木」は継続出来た
- ・二荒神社一の鳥居の清掃、新鹿沼駅前いちごオブジェ清掃を継続
- ・CCV本部ビル周辺の地域清掃(不定期)継続
- ・鳥居跡町自治会さまより、広報誌の仕分け作業を継続
- ・大関種苗店さま、実習受け入れ継続
- ・ウィステリアエステートさまより、清掃作業継続